

What's new, 臨床検査!

知っておきたい B型肝炎検査の新常識!

監修・ご出演

田中 靖人 先生

名古屋市立大学大学院 医学研究科 病態医科学 ウイルス学分野 教授
肝疾患センター 中央臨床検査部 部長

キャスター

高島 英里奈



第1回

8月下旬
配信開始

経過観察はHBV DNA検査でスッキリ!

B型慢性肝炎における肝炎沈静化の1つの指標であるHBe抗体ですが、HBe抗体(+)例であっても持続的・間歇的に肝炎を継続する症例が存在します。そこで今回は、その病態理解にHBV DNA検査が有用であることをご紹介します。

将来的な肝がんを見逃さないために HBV DNA検査を!

HBV持続感染者(キャリア)は、肝がん発生のハイリスク群であり、線維化が進行していない症例や、ALT値が正常である症例からの肝発がん症例も少なくありません。そこで今回は、HBV DNA量が肝炎や肝がんの発症と関連していることをご紹介します。

第2回

9月下旬
配信開始

第3回

10月下旬
配信開始

再活性化!リウマチや癌などの治療前には 必ず検査を!

HBV既往感染者に免疫抑制作用のある薬剤を投与すると、治ったはずのHBVが再活性化し、時に重篤な肝炎(de novo B型肝炎)を引き起こすことが知られています。50歳以上ではHBV既往感染者が20~25%を占めると言われ、既往患者数は決して少なくありません。そこで今回は、de novo B型肝炎を予防するための検査のポイントについてご紹介します。

コンテンツは、株式会社ケアネットが運営する医療従事者向け会員制サイト

ケアネット・ドットコム <http://www.carenet.com> (登録、ご利用は無料)にてご覧いただけます。

Roche

ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社 〒105-0014 東京都港区芝2-6-1
カスタマーサポートセンター ☎ 0120-600-152 <http://www.roche-diagnostics.jp>